



HODOGAYA

化学で夢のお手伝い
Your Dream is Our Business

2011年度 第1四半期 連結決算 説明資料

保土谷化学工業株式会社



HODOGAYA

業績概要(連結)

化学で夢のお手伝い
Your Dream is Our Business

単位:百万円

表示:百万円未満切捨て

科目	2010年度	2011年度	増減
売上高	7,408	8,510	+1,101
営業利益	325	411	+85
経常利益	185	330	+145
当期利益	60	932	+871

- **売上高**は、樹脂材料事業の好調、アグロ事業の回復に加え、保土谷アグロテックの子会社化により、**増収**
- **営業利益・経常利益**は、売上高の増加に加え、営業費用の減少により、**増益**
- **当期純利益**は、SFCおよび保土谷アグロテックの株式の追加取得による、段階取得に係わる特別利益計上等により、**増益**



HODOGAYA

主要・製品

化学で夢のお手伝い
Your Dream is Our Business

セグメント

事業

主要製品

機能性色素

電子材料

色素材料

有機EL材料

トナー用電荷制御剤(CCA)、有機光導電体(OPC)材料
スピロン染料、カチロン染料、塩基性染料、食品添加物
有機EL材料

機能性樹脂

樹脂材料

特殊化学品

建築材料

PTG(ウレタン原料)、接着剤、剥離剤、硬化剤
ホスゲン誘導体、医薬・樹脂材料・電子材料用の中間体
ウレタン系・セメント系の土木・建築用材料、工事

基礎化学品

工業薬品

過酸化水素および誘導品、工業用基礎原料

アグロサイエンス

農薬

除草剤、殺虫剤

その他

カーボンナノチューブ、危険物倉庫、研究開発業務の受託



HODOGAYA

セグメント別・売上高

化学で夢のお手伝い
Your Dream is Our Business

単位:百万円/表示:百万円未満切捨て

セグメント	2010 年度	2011 年度	増 減	増減要因	
				数量差・ 構成差	売価差※
機能性色素	2,296	2,288	▲8	+64	▲72
機能性樹脂	2,472	2,801	+329	+380	▲50
基礎化学品	2,072	1,856	▲215	▲217	+2
アグロサイエンス	207	1,238	+1,030	+1,029	+1
そ の 他	360	324	▲35	▲35	—
合 計	7,408	8,510	+1,101	+1,221	▲119

※売価差には、為替差 ▲101を含む



HODOGAYA

セグメント別・営業利益

化学で夢のお手伝い
Your Dream is Our Business

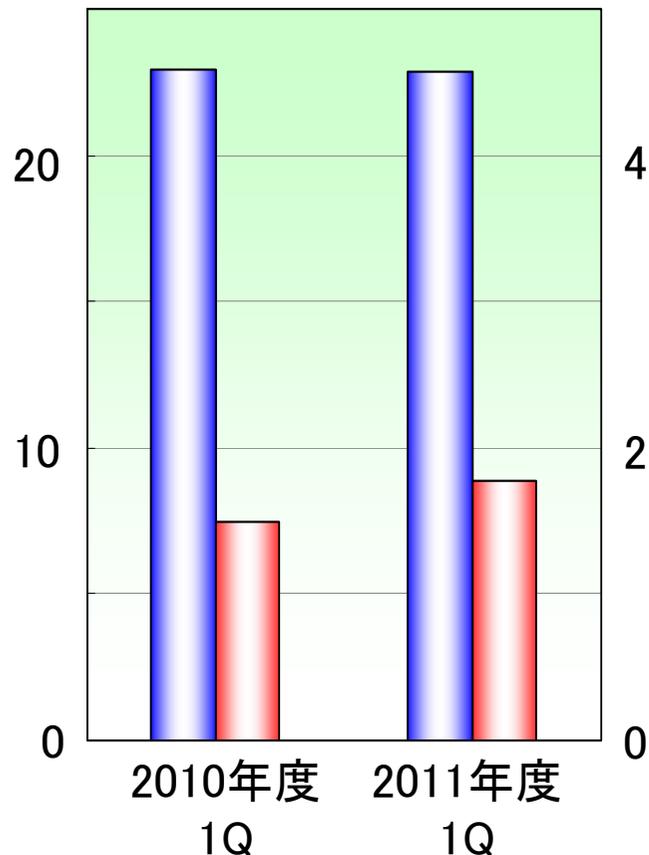
単位:百万円/表示:百万円未満切捨て

セグメント	2010 年度	2011 年度	増 減	増 減 要 因			
				数量差・ 構成差	売価差※	原価差	販管費差
機能性色素	149	177	+28	+62	▲72	+54	▲15
機能性樹脂	79	92	+13	+143	▲50	▲16	▲63
基礎化学品	159	63	▲95	▲61	+2	▲14	▲21
アグロサイエンス	▲135	27	+163	+221	+1	+6	▲66
そ の 他	74	51	▲22	▲21	-	-	▲0
合 計	325	411	+85	+341	▲119	+30	▲165

※売価差には、為替差 ▲101を含む

単位:億円

単位:億円



売上高 : 左目盛

営業利益 : 右目盛

電子材料

・顧客の需要鈍化、円高および価格競争の激化により、減少



色素材料

・紙パルプ用・繊維用染料は、長期低迷傾向の継続により、減少
・アルミ着色用・文具用染料は、海外需要の伸長で、増加

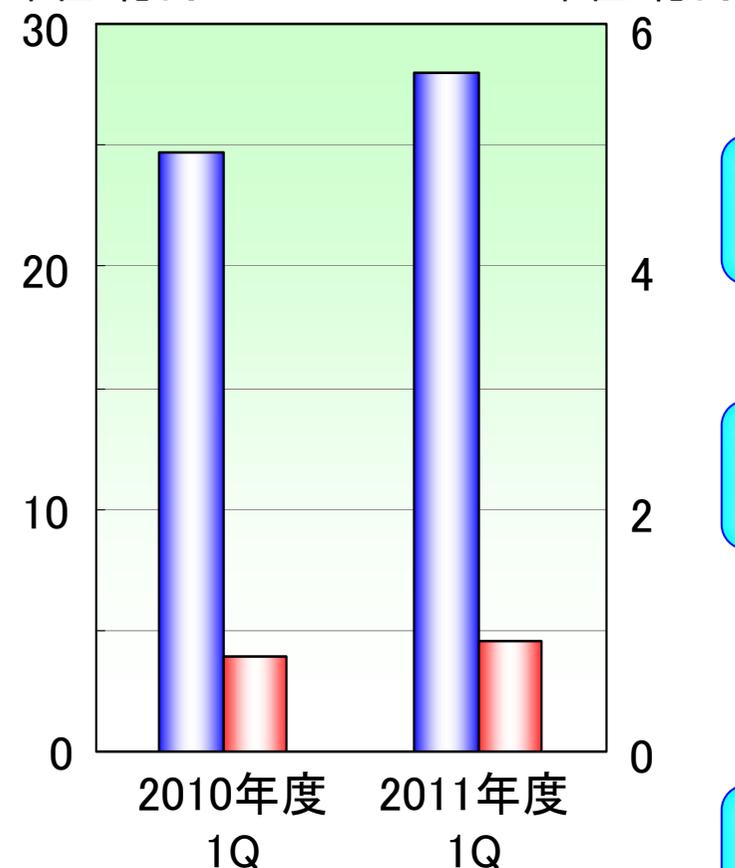


有機EL

・モバイル用ディスプレイ向けの需要が伸び、増加



単位:億円



売上高 : 左目盛
 営業利益 : 右目盛

樹脂材料

・PTGは、国内・海外とも需要が伸長
接着剤はアジア向け輸出が好調に推移し、増加



建築材料

・材料販売は、ウレタン系防水材分野で、依然として厳しい価格競争が続いており、減少
・防水・止水工事は、防水工事の大型物件の獲得があり、増加



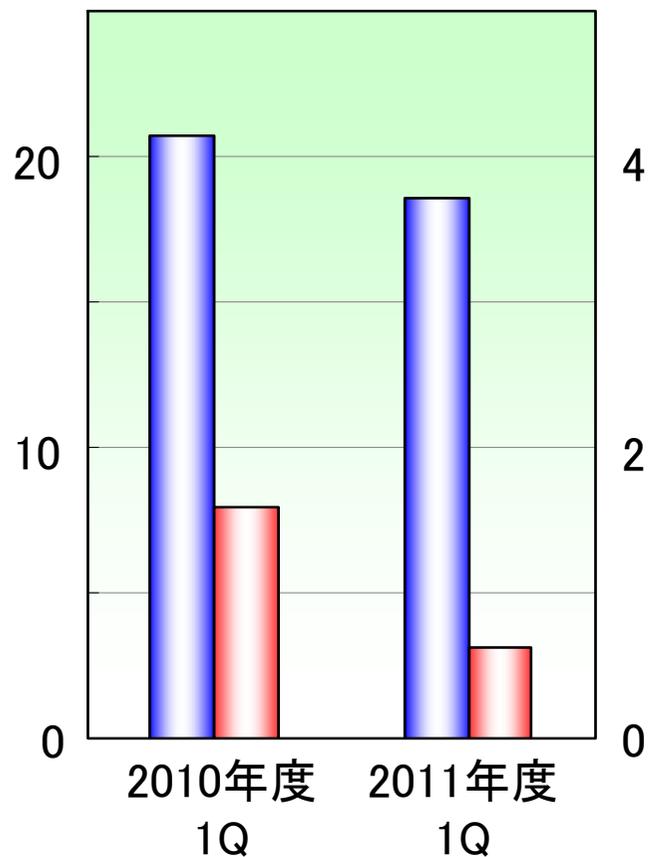
特殊化学品

・樹脂関連・医薬品分野とも需要が伸び悩み、前年同期並み



単位:億円

単位:億円

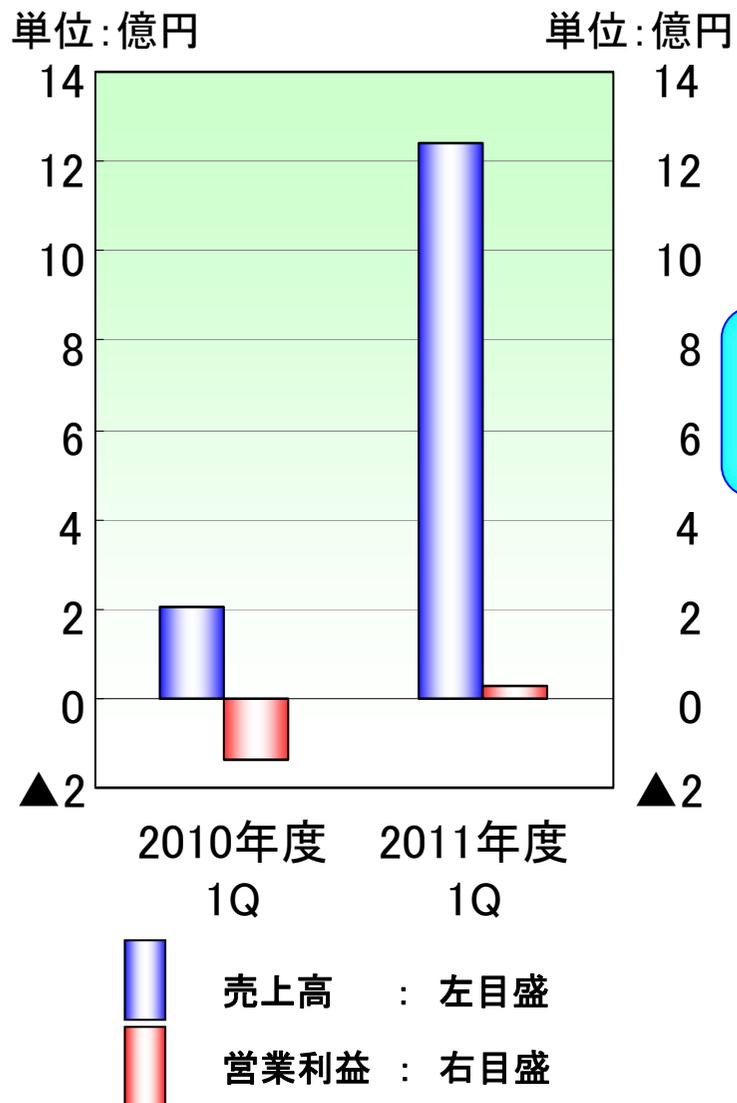


過酸化水素

・紙パルプ・工業薬品分野とも、東日本大震災の影響による需要の落ち込みで、減少



売上高 : 左目盛
 営業利益 : 右目盛



アグロサイエンス

- ・昨年春先のような天候不順の影響はなく、家庭園芸用および農耕地用除草剤の需要が回復し、増加
- ・関連会社の再編に伴う連結子会社化により、増加

